

## 第10回 雲南市総合計画策定委員会 開催結果

### <開催概要>

日時 2024年2月15日(木) 14:00~17:00  
場所 雲南市役所3階 301会議室  
参加者 (別紙のとおり)  
事務局 市役所:板持部長、鳥谷課長、山本統括主幹  
エブリプラン:肥後、鶴見

### <次第>

1. 開会あいさつ(高橋委員長)
2. 議事
  - (1) 第3次総合計画基本構想の磨き上げ
  - (2) その他
3. 閉会



### <開会あいさつ>

高橋委員長

策定委員会も前半終了となる。タウンミーティングが6ヶ所全て終わった。皆さんにも参加いただき感謝申し上げます。たくさんの意見が出たが、それを踏まえて皆さんで揉んでもらい、まずは着地をする会としたい。

### <議事:第3次総合計画基本構想の磨き上げ>

事務局(鳥谷課長)から、資料1に基づき説明。

#### ■タウンミーティングの感想

大家副委員長

私は吉田・三刀屋・掛合に参加し、賛否の意見をたくさんいただいた。基本的には賛同の意見の方が多かったと思うが、前向きな課題の意見も多かった。思いつかない意見もたくさんあった。とはいっても各会場で50人程度、雲南市の人口が4万人弱であることを考えると、これも一部の意見に過ぎない。今の何十倍、何百倍の意見があると思う。

今の構想もすごく良いが、専門的な言葉などがあって分かりづらいという意見もあり、できるだけわかりやすくシンプルなものにしていきたいとお伝えした。否定的な印象はなかったが、表現方法や伝え方に工夫をしていかないといけないという意見があったように感じた。この部分をできる限り拾い上げて磨ければと思う。

高橋委員長

私も3会場参加した。どの会場もたくさん参加者がいて熱心。これまでの地域自主組織の取組の成果だと思う。ほとんどの会場に来ていた議員さんもいた。他の議員さんにも参加し

ていただきたかった。

いろいろな意見がある中で、皆が同じ考えではないし、わかりやすいのが良いのかということも含めて、全ての市民の意見を聞き、その意見を反映させることは難しいと思っている。策定委員会として信念を持って議論してきたので、自分は今の案から変える必要はないと実感した。そのビジョンに含まれる内容や意味合いは、タウンミーティングの意見や提案を反映していくという姿勢で良いのでは。悪い意見をクローズアップしてしまうが、良いところを踏まえて考えていく方が良いと思う。

どういふうにすればよりよく伝わるか。どこまでわかりやすく伝える必要があるのか。市民に考えさせることも大切ではないかとも思った。

#### ■策定委員からの個別意見

陶山委員：基本理念「変わらず、変える」の表現について、提出資料に基づき説明。

→事務局（鳥谷課長）

基本は、言葉の使い方は変えないが、解釈の仕方をもう少し分かりやすくした方が良いと思っている。「変わらず」のフレーズは、変えない・守っていくというような意味合い。タウンミーティングでも「守っていくことは責務なのか」という意見があった。ここはもう少し変えていった方が良いのではないかと。守る・守らないは個々の判断軸だが、「大切に未来につないでいく」というのが改めて大事だと感じた。従って、「今後も変えることなく未来につないでいく」を「今後も大切に未来へつないでいく」というような言い方に変えた方が良いかと思う。言葉自体は変えないが、雲南市がやってきたまちづくり自体が変わらない姿勢でやっていく、基本的な姿勢は「変わらない」という意味合いに変えていく形にしたい。

徳島委員：タウンミーティングを踏まえた意見について、提出資料に基づき説明。

→事務局（鳥谷課長）

これからえすこな状態をみんなで考えていく中で、子どもたちにもしっかり考えてもらい、その声を聞いて具体的な施策に反映させていくことが大事。学校とも連携しながら、子どもたちにもわかりやすいように総合計画を伝えていくことが大切。出前授業などもやっていけるのではと思う。

#### ■対応案についてのグループワーク

大家副委員長

- ・伝え続けることが大事。キャンペーンを張って、いろんところで「えすこ」が飛び交う波を起こしたい。学校の授業などでも「えすこ」を取り入れて将来の夢や地域のことを語ってもらったりするのも良いと思う。
- ・えすこはみんな違うのは大前提。対話することが大切。そこに他者を思いやる気持ちが入っていくとより良いえすこが出来ていくのではないかと思う。
- ・基本理念について、言葉の響きは良いと感じる。何を変えたくて何を変えたくないのか、いろいろな意見があるのも理解する。過去から受け継いできたものや風景は大切にしたい。

大切にしたいことを書き込んで、でも書きすぎると定義化してしまうので、それぞれの大切にしたいものを自ら考えてもらえるようなニュアンスの表現が良いのかと思う。

- ・えすこ自体が方言なので、子どもや移住者にとってわかりづらい。出雲弁の独特の方言を思い出す機会、伝えていく機会にできたら面白いのではという意見も出た。

(ふせん)

- ・伝え続ける
- ・キャンペーン・ポスター（ステッカーなど）・バス
- ・子どもからインタビュー（学校から）
- ・「えすこ」それぞれ違うということが大前提！これをきっかけに自分にとって、地域にとってのバランスのとれた「えすこ」とは何か話をするのが一番大切なこと
- ・「変えたくないもの」大切にしていきたいものを明確に表現した方がよいが、それも人それぞれの部分があるので書きすぎず、考えてもらえるような表現の仕方がよいと思う
- ・「えすこ」が若い世代にどこまで伝わる？か…。自分の子の世代の価値観のギャップを感じる…。

梶谷委員

- ・「変える」ものの線引きが人それぞれ。ただ、タブーについて話し合うきっかけになるのでは。
- ・「えすこ」という表現について、市民のワークショップから出てきたという過程が実は大事なのではないかと。曖昧な言葉だが、曖昧なことについて話し合うのは良いことだと思う。市民が自分ごととして考えるきっかけになるのでは。
- ・「えすこ」を広めるには？という話になった。正解のない問いなので、学校、授業参観、自治会、いろんな場で考え話し合う機会が出来れば良いのではないかと。

(ふせん)

- ・学校教育が「えすこ」という正解が無い問いについて考えられると良い←授業参観など
- ・「えすこ」を親子で考えるきっかけづくり
- ・「？」から生まれる問いを考えることができる
- ・「えすこ」を考えるワークがあったら良い（学校・自治会）
- ・「えすこ」について考える機会が多様にあることが大切
- ・1人1人が自分の「えすこ」を考える良いきっかけ
- ・今までとは違う1人1人が当事者となれる曖昧さ
- ・「えすこ」のレベル感
- ・変えるもの 線引きできるのか？
- ・タブーについて話し合うきっかけになる
- ・曖昧なことを話し合うことこそ大切と思う
- ・「えすこ」という言葉が出てきた過程を大切に

#### 中林（若手職員）

- ・言葉自体が曖昧なので、言葉に込められた内容の補足説明があることが大事なのは。えすこという言葉が知らなくても、これを機に覚えていくことができる。いろんな人がプロセスに関わっていることが本当に大切なので、そこが伝わるよう補足説明が出来れば良いのではないかな。

(ふせん)

- ・「えすこがわからない!!」小中学生にもっと方言を知る機会を増やしてみても
- ・同じ方向を向くのは難しいが一つ一つのテーマをわかりやすい例を出して理解してもらおう
- ・すこし不思議なぐらいに興味を持ててよいのかな。
- ・「えすこ」=若い子でも発信できる方言と組み合わせは？
- ・変な風にも考えられる。説明があると同じ方向が向けるかも
- ・人によって都合がよいように受けとってもらえるのがよいと思います。

#### 總山委員

- ・タウンミーティングの場の持ち方について。抽象的なテーマを扱っていたので、住民さんが議論がしにくい印象を受けた。また、若い人、現役世代の意見を踏まえた総合計画にしていきたいので、世代や職業が混ざるようなグループ分けができると良かったのではないかな。1次・2次の総括ができていくのか気にされる人もいて、テーマが抽象的だからということもあったと思うので、お題の出し方は工夫のしどころだと感じた。

(ふせん)

- ・何時、何をするか。具体的でない。わかりにくい
- ・抽象的な議論のため、意見を出しにくい&評価しにくい様子だった  
→具体例を提示すると納得度◎
- ・1次、2次の総括をしているのか？
- ・世代毎、企業毎 意見をいただく
- ・タウンミーティング自体のあり方。若い年代が少ない
- ・市民は先の事よりも「今」のことに注目。10年ビジョン自体がわかりにくい
- ・具体的な施策がないまま、将来像を話しても、やりにくい… ←ぼんやりとしている

#### 持田（若手職員）

- ・「えすこ」に関して、意味がわからないことが逆に関心を引くので良いのでは。
- ・「変わらず」はどういう「状態」のましが良いかという意見だったが、「変える」は状態と、変えないため何を変えるのかという「手段」の意見が混在していた。「変える」の意味合いを整理する必要があると感じた。
- ・英語表記はおもしろいという意見があった。
- ・徳島委員のまとめ案、若者が帰ってきたい総合計画に、というのはターゲットが具体的でおもしろい。

(ふせん)

- ・“えすこに”知らない人、若者も調べたくなる。(何だろう?) 出雲弁=文化的  
このままにしてサブタイトルも!
- ・サブタイトル Well-being for all UNNAN
- ・えすこの意味がわからないことが、逆に関心・注目を浴びてよいのでは。
- ・変わらず=状態  
変える=状態と手段(変わらず)がごちゃまぜになっている

#### 山元委員

- ・方向性について異論はなかったと思う。後はどう伝えるか、広報・運用面の工夫を考えるべきという意見であった。
- ・今の段階では曖昧なのはそのとおり。曖昧なものしか出していない。12の施策と基本計画をセットで出せば、また違った声も返ってきていたと思う。完成した段階でまた意見を聞くときには、タウンミーティングの場の持ち方を工夫してやっていくべき。
- ・「えすこ」「変える」「変えない」の基準は一つではないという意見があった。市役所としてはどう考えるか決め、それに基づいて基本計画をつくるスタンスだと思う。市役所がそう言っているからする・しないを決めるのは違うと思う。私の地域ではどうか? 私の会社ではどうか? それぞれの線引きの中でどう作っていくか、それぞれが決める。決めたくえで計画に落とす。それが一つの基準で決まっていけないというのが良い。
- ・どう市民に波及させるか、昨日、20名くらいの若手職員とワークショップをした。  
案① 1~2か月くらい、将来像と基本理念がプリントされたTシャツを職員が着用  
案② えすこゲームを開発  
案③ えすこレンジャー、アンバサダー任命  
皆さんにもアイデアを出していただき、来年度以降も考えていく必要がある。

<議事: 12分野のめざす姿/デザイン案>

事務局(エブリプラン)から、資料2-2に基づき説明。

#### ■修正案についてのグループワーク

分野ごとの目指す姿

分野ごとの目指す姿	策定委員意見・コメント
協働/自治/コミュニティ 「らしさ」を活かしたみんなのまち	・「らしさ」の意味が不明? 施策分野と合わないのでは?
交通/インフラ/土地利用/防災/交通安全 どこでも安心して暮らせるまち	
高齢者福祉/障がい者福祉/健康づくり/医療/福祉 「良いおせっかい」でみんながずっと元気	・「おせっかい」だと他力本願な感じ。誰がやる? となりそう。支え合いなら お互い様で~とか

なまち	
家族/結婚/出産・子育て 家族や地域、みんなで子どもを育てるまち	・子育て＝結婚ではないのでは？結婚は消 していい（結婚は人権、男女共同参画、移 住定住などとも関連）
教育・子育て いろいろワクワクな学びにあふれるまち	・“いろいろ”ワクワク曖昧すぎる
人権/男女共同参画/多文化共生 みんながみんなを大切にするまち	
生きがい/生涯スポーツ/歴史文化 生きがいが見つかるまち	
移住定住/人材還流/関係人口 いつまでも大好きなまち	・いつまでも大好きなまちと項目の関連性
自然環境/エネルギー/食 里山の恵みが巡るまち	・巡る→めぐる ひらがな表記にする ・廻る
産業・経済/起業・新産業 「ここにしかない仕事」がどんどん生まれ るまち	・「がっばり雲南」とかの方が、伝えたいこ との本質を捉えているのでは ・「ここにしかない仕事」しかやっちゃだ め？「ここでもできる」「いろんな」など の言葉が良いのでは ・「ここにしかない仕事」が続き生まれるま ち ・ <u>価値をつくる</u> 新しく生み出すことだけ が大切ではない！
観光/ブランディング/地域間連携 誇りの文化が世界とつながるまち	
人材の育成・確保/新しいお金の流れ/DX チャレンジしたくなるまち	
全体・その他	・わかりやすく見やすい ・もっとブラッシュアップできると思う！ ・市役所の職員が目指す姿になる！（それ ぞれの部署で） ・説明不要な分かりやすい言葉にしてほし い ・「えすこに」は図の外（上部）に、「くらす」 「つくる」「はぐくむ」は円の中に

デザイン案

項目	策定委員意見・コメント
----	-------------

<p>将来像</p>	<p><b>サブタイトル</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サブタイトル必要ない</li> <li>・1度、中高生にアンケートをとる。その経験を通して注目度高まる。故郷への愛着をもてる。</li> </ul> <p><b>説明文</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「<u>他者</u>も～」人が重複している。動植物のこと？何のことを指す？</li> <li>・下3行長いので「～人間だけではありません。他者～」←区切る</li> <li>・「今だけ～だけ」ではなく「他者～神々も」←「」で区切る</li> <li>・文章が長くて意見の切れ目が分かりづらい</li> <li>・今の文では説明が必要なので、より分かりやすくしてほしい</li> <li>・「他者」の言葉に違和感</li> </ul>
<p>基本理念</p>	
<p>えすこ軸</p>	<p><b>全体</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・“うんなんのえすこ軸”いい言葉</li> <li>・うんなんえすこ軸をもっと活用する。</li> <li>・違和感あり。使いにくい</li> <li>・海士町のパンフレットわかりやすい。</li> </ul> <p>[</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1人でできること ウォーキング</li> <li>・2人でできること</li> <li>・10人でできること</li> <li>・大勢でできること</li> </ul> <p>]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・先人⇄<u>未来</u>（次世代）がない！</li> <li>・【未来】 自分 隣人           ↑ 変える 自然 神々や先人 ↓ 変わらず</li> <li>・未来に向かって</li> </ul> <p><b>自分</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・“自分”にとってどんないいことがありますか？・・・(箇条書きに)</li> </ul> <p><b>隣人</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「隣人」→「みんな」が良いのでは</li> <li>・“隣人”でなく“地域”が良い</li> <li>・“地域”までなら何とかなくても…それ以上、思いはあっても余裕がない</li> </ul>

	<p><b>自然</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然…コウノトリ←入れなくてよい</li> <li>・自然…<u>コウノトリ</u>（だけじゃない）←消す</li> <li>・自然と生物</li> </ul> <p><b>神々や先人</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・神々のインパクトがすごい！</li> <li>・“先人”？他に良い文言はないか…</li> </ul>
3つの柱	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「えすこに暮らす」おじいさん・おばあさん 表現的な男女平等</li> <li>・イラストの内容と配置を工夫する。“大切にしたい”ゾーン、“こうなっ てほしい”ゾーン</li> <li>・動物、神様、ご先祖のイラストがういている</li> </ul>
冊子デザイン	<p><b>全体</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イラストのトーンや色味が少し寂しい感じがする</li> <li>・なぜコウノトリなのか。もう少し工夫を</li> <li>・この絵本（計画）を何度も読み返してもらえるものを！</li> </ul> <p><b>表紙</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・表紙が暗い</li> <li>・表紙 田植えの絵にしたらどうかな？</li> <li>・表紙のコウノトリを飛ばせたい！（未来に向かって進んでいるような印象に）</li> <li>・表紙に主役のコウノトリがいると良い。人がいて欲しい。</li> </ul> <p><b>エピローグ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土地利用ビジョン もう少し楽しそうに書けないか？</li> <li>・どんな「えすこ」になってほしいか問いかけがあったらよい</li> <li>・最後は、読者に問う文言があると◎『あなたにとっての、えすこは何ですか？』</li> </ul>

（全体共有）

神田（若手職員）

- ・サブタイトルはあった方が良いのでは。決め方として、中高生にアンケートを取ってみてはどうか。学生への機運醸成にもなるのでは。
- ・えすこ軸について、イラストに違和感があって使いにくい。4つの軸はもう少し良い言い回しが無いかな。隣人・先人は少し考えにくい。隣人を地域に変えてはどうか。

- ・考える指標として、海士町のように、1人でできること、2人でできることがわかるものの方が考えられるのでいいのではないか。
- ・分野ごとの目指す姿に関しては、分かりやすく、見やすくなった。
- ・表紙について、主役のコウノトリを表紙にいなくなるので表紙側に。人の姿もあった方がいい。

#### 加藤（若手職員）

- ・えすこ軸の説明について、自然にはコウノトリだけじゃないので消すか、自然「や生物」という表現でも良いと思う。隣人のところで次の世代に触れているが、ぱっと見では未来が見えにくいので、未来のことを打ち出してもいいのでは。
- ・最後に「あなたにとってのえすこは何ですか？」と読者に問うてみては。
- ・分野ごとの目指す姿はもっとブラッシュアップできそう。「ここにしかない仕事がたくさん生まれるまち」のところで、仕事は新しく生み出すだけじゃなくて、今はどこでも仕事ができるので、価値をつくっていくことが大事だと思うので、「ここにしかない仕事がつづき、うまれるまち」が良いのではないか。

#### 須谷（若手職員）

- ・将来像について、今の英語表記をサブタイトルとすればいいのでは。絞るのではなく逆に広げる意味で。
- ・えすこ軸の部分、パット見わかりづらい部分がある。「自分にとって良いことか」→「自分にとってえすこなことか」にしてはどうか。
- ・3つの柱のイラストのところは、総合計画に書く以上、イラストにしているものは目標として達成していくべきものだと思う。目標と乖離があるものについては、イラストは不要ではないかと思う。
- ・分野ごとの目指す姿については概ね良いのでは。
- ・土地利用ビジョンについて、急に現実的なので、イラストチックになると良い。
- ・表紙について、コウノトリが怖い、暗い印象。印刷の関係かもしれないが、改善されるとより良いものになるのでは。

#### 陶山委員

- ・将来像に関して、サブタイトルは必要ないのでないか。説明文の後半3行がわかりにくい。他者とは誰なのか？なるべくわかりやすい文章で説明したほうが良い。
- ・表紙がちょっと暗い。
- ・分野ごとの目指す姿について、「おせっかい」は他力本願にも聞こえる。「支え合う」「おたがいさま」という表現の方が良いのでは。「いろいろワクワク」は曖昧過ぎる。「自然の恵みが巡る」もわかりにくい、言いにくい言葉だと思う。子育て＝結婚ではないので、考えていただきたい。
- ・えすこに暮らすのイラストについて、縁側・おせっかいを受ける・一人暮らしのイラスト

はおばあさん、輝いているイラストはおじいさん。男女のバランスを見直して欲しい。

#### 松尾委員

- ・表紙について、緑が濃ゆい。人がいない、コウノトリが暗い感じもする。全体的にもっと明るくしてはどうか。
- ・えすこ軸について、ゲーム感覚で楽しめるようにしてはどうか。どこに何個当てはまったらどういうタイプ、のよう楽しく使えれば興味を持ってもらえるのでは。
- ・コウノトリ＝自然かもしれないが、少しコウノトリ感が強い。大東では思い入れがあるかもしれないが、他の地域ではどうか。教育すれば実感が湧くかもしれない。
- ・えすこに生み出すのイラストの場所について、「みんなが笑顔」は左上にあった方が良いのではないか。
- ・この本がどこに置いてもらえるか。たくさんの人に見てもらえる場所においてほしい。

#### 事務局（エブリプラン肥後）

- ・表紙が暗い、人がいない、寂しい、というのはご指摘の通りかと思う。裏にコウノトリがいるのは、全体を見終わったときに、こういうことを言いたかったのかというのを最後でわかるようにし、最初から敢えて出さないという演出の意味を込めたが、ご指摘はごもっともなので検討したい。
- ・えすこ軸のところは、これで完全ではないと思っている。隣人・先人は抽象的なので、多世代にとって分かりやすい表現に改善していきたい。
- ・将来像について、副題を載せる・載せない双方の意見があった。デザイナー含め我々の意見としては、副題で説明しすぎない方が良く考えている。「えすこな雲南市」という将来像自体がかなり余白を含んで問いを投げかけるものになっているので、言葉にすると逆に伝えたいメッセージが漏れ落ちてしまう恐れもある。敢えて余白を残す将来像を掲げるのも一つの方向性だと思う。ただ、いただいた意見を踏まえて議論していきたい。
- ・今回は表紙だけ色を入れているが、最終的に全てのページをデザインし、イラストも加え色も付くので、もっとわかりやすくなるよう、いただいた意見も踏まえて検討したい。

#### 事務局（鳥谷課長）

- ・いろんな意見をいただいて、もっと良くなるという可能性を感じた。
- ・デザインについてはたたき台なので、もっと良くしていきたい。読ませるものと分かりやすさをどう表現していくか。タウンミーティングでは分かりやすさの大切さを感じた。バランスを取りながら反映していきたい。より良くしていけるように追求していくのでお待ちいただきたい。
- ・土地利用ビジョンについては今回は見直していない。この土地利用ビジョンは、合併したときに6町村をどういうまちにしていくのかという土地利用の考え方を定めたもの。それぞれのまちを大事にしていくという考えが大前提にある。住宅施策にしても、6つのまちをそれぞれ大事にしていく。どういうまちづくりを目指していくのか、然るべきタイミ

ングで議論は必要だが、今回は基本的な考え方は変更しない。表現の変更、デザインは調整中。

- ・人口ビジョンについて、人口増を主題でやっていかななくても良いと議論いただいたと認識している。まずは市民がえすこに暮らしていけるよう目指していく。人口ビジョンについて、推計値としては入れるが、基本構想からは外そうと思っている。
- ・次年度、5月の策定委員会では完成版を皆さんにお伝えする場となる。ほぼ最終形になると思うので、その間は委員長・副委員長に預けていただいて、それまでにブラッシュアップしてお示ししたい。

<その他>

今後のスケジュールについて、事務局（鳥谷課長）から資料1に基づき説明。

■ 1年間の振り返りについてのグループワーク

（全体共有）

高橋委員長

- ・今後は広めていくことがメインになる。えすこをシンボルに、わかりやすいデザインを掲げながらお披露目イベントを企画できると良い。
- ・分野ごとに目指す姿のブラッシュアップは、職員さんの共通理解が必要。ここの分野だったらここを目指す、ということになるので、結構大事な部分になるのではないかな。

<閉会あいさつ>

板持部長

タウンミーティングでは大変お世話になった。雰囲気もとても良く、想定以上の人に来ていただけた。私は第1次総合計画を担当していたが、当時は市民委員会を立ち上げて、その時も市民と行政とで作り上げていたが、今と雰囲気が全然違う。当時はここの道路をどうするといった目先の事や、人口増に向けての一方的な意見が多かったと思う。タウンミーティング的なものもやったが、当時はステージで説明し、市民に意見をもらう形でやっており、ステージと観客席のように分離していた。今はみんな同じ土俵で協議していると感じる。変えてはならないものを大切にしながら進めてきた結果として、徐々に変わってきた、だんだんえすこな状態になってきたのかなと思う。

参考情報として、コウノトリの話も出たが、昨年条例をつくった。生物多様性の観点。コウノトリは生態系の頂点に位置する鳥。コウノトリを保全するということはエサ資源も含めて多様な生物環境を保全しなければいけない。コウノトリは生物多様性の象徴。現在コウノトリをまちづくりに活かすビジョンを立てているが、これの改訂を進めている。国際的にも生物多様性の保全が重要な観点になってきている。ネイチャーポジティブ宣言を今度のビジョンに盛り込もうということで進めている。

人と自然の共生の観点について、脱炭素のための計画づくりというのを進めていて、もうすぐ終わる。自然との共生を進めていくという観点で地球環境の保全に取り組んでいく。こういうことも含め、より良いえすこな状態になっていくのではないかなと思う。

今までの過程を振り返ってみると、初期の協働を進めた協働 1.0、チャレンジを進めた協働 2.0 から、今の状況はまさに人と人の関係だけではなく、人と自然、人と生物環境も含め、暮らしを豊かにしていくと観点から協働 3.0 と思っている。議会でもいろんな意見があった。今日のグループワークの中でも多様な意見があった。これからも賛否両論あると思うが、基本的には「ぶれない軸」としての総合計画という意味合いがある。

中間とりまとめに入るが、これから更に微調整を進めていき、また基本計画を議論していく。引き続きご協力いただきたい。できるだけ多様な意見を取り入れながら皆さんとともに作っていくプロセスが重要だと思っている。

ひとまず今年度についてお礼を申し上げたい。

大家副委員長

基本構想って何のこと？から始まって、この会を通じて、雲南市のことを知ることができた。上の世代の方や違う業種の方、若手の方と話す機会を持つことができ、自分も成長できた1年だった。

来年度も引き続きお願いしたい。